

放牧牛の牛追いにドローンを使おう！



放牧から戻ってくる牛を戻すのは大変だな…



牧柵の状態を見たり、1頭だけ遠くにいる牛がいるか確認できたらなあ…



ドローンの活用を検討してみませんか？

ドローン活用例



コントローラーの画面から見た牛の移動の様子

牛舎～放牧地間を歩かずに牛追いが可能に！

Q1：価格はどのくらい？

性能や付属品(バッテリー、プロペラガードなど)の種類や数によって大きく異なり、6～15万円程度です。

Q2：免許は必要？

免許は必須ではありません(令和7年2月現在)。
ただし、重量が100g以上の機体は国土交通省の「ドローン情報基盤システム2.0」での機体登録が必須になります。

Q3：その他申請が必要なものはある？

「特定飛行※」に該当する場合、別途申請が必要です。
また、各市町村の条例や民法などに違反していないか確認する必要があります。

※特定飛行とは地上高150m以上の上空や空港周辺、人口集中地区など一般のドローン飛行が制限されている空域での飛行

使用者の声

・使用前は牛が本当に移動してくれるか不安だったが、どの牛もしっかり移動しており、ドローンが牛追いの役割を果たしているため驚いた。



最後の一头をドローンで追う様子(赤丸内がドローン)

具体的な使用事例を知りたい方は、
お気軽に普及センターにご相談ください！

HPIはこちらから



■お問い合わせ 宗谷農業改良普及センター本所 01634-6-1441
宗谷北部支所 0162-82-2119